

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2009-525595(P2009-525595A)

【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2008-551939(P2008-551939)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2010.01)

H 03 K 17/78 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 J

H 03 K 17/78 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月25日(2010.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

L E D ドライバ回路であって、供給電圧入力端子と、制御入力端子と、上記ドライバ回路を少なくとも1つのL E Dに接続するための第1及び第2の出力端子とを含み、上記L E D ドライバ回路は、

上記供給入力端子と上記第1の出力端子との間に接続されているダウンコンバート特性を有するスイッチドモード電源(s m p s)を含み、

上記コンバータは、上記L E D電流を調整するためにヒステリシスを呈するように構成されたコンパレータ回路によって制御され、

上記コンパレータのスイッチングレベルは、基準端子で受ける電圧基準によって設定され、

上記制御入力端子は、上記コンパレータ回路の出力を可能または不能にするスイッチに接続されている、ことを特徴とするL E D ドライバ回路。

【請求項2】

上記コンパレータ回路へ供給される対応電圧を確立するために、シャント抵抗がL E D電流を受けることを特徴とする請求項1に記載のL E D ドライバ回路。

【請求項3】

上記電圧は、ローパスフィルタを介して上記コンパレータ回路へ供給されることを特徴とする請求項2に記載のL E D ドライバ回路。

【請求項4】

上記コンバータは、(ステップ)ダウンコンバータまたはバックコンバータであることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載のL E D ドライバ回路。